

自動翻訳機能を強化し、ベトナム語など 50 言語以上に対応 ～外国人と働く 7 割以上が「困ったことがある」言語の問題を解消し、 外国人労働者の理解度や働きやすさを向上～

サービス業の潜在力を引き出す「ABILI（アビリ）」を提供する ClipLine 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋 勇人、以下「当社」）は、動画型実行マネジメントシステム「ABILI Clip（アビリクリップ）」に実装されている自動翻訳・字幕機能を強化し、50 言語以上に対応することをお知らせします。

■概要

近年、飲食業界やサービス業界において、深刻な人手不足が続いています。その解決策の1つとして、外国人労働者の方々が重要な戦力として注目を集めています。一方で、言葉の壁や文化の違いから、作業指示の伝達や安全管理の徹底が困難になるなど、コミュニケーションやサポート体制における新たな課題が浮き彫りになっています。

当社が実施した「飲食業界における外国人労働者との関わりに関する実態調査（※1）」においても、回答者の7割以上が「外国人労働者とのコミュニケーションで困った経験がある」と回答し、具体的に困ったことは「言語」や「文化の違い」であることがわかりました。

動画型実行マネジメントシステム「ABILI Clip」は、動画を活用して多拠点ビジネスのマネジメントや教育、コミュニケーションなどの効率化を図る IT サービスです。昨年12月に自動翻訳機能を実装し、クリックひとつで日本語の音声英語へ翻訳、字幕を付加する機能を提供してきました。

このたび、対応言語数を、英語を含む50言語以上へアップデートします。これにより、日本語と英語以外を母国語とする外国人従業員の方が、これまで以上に効率的かつ正しく内容を学びとることが可能になり、現場での円滑なコミュニケーションの実現に寄与します。

（※1）飲食業界における外国人労働者との関わりに関する実態調査（2024年11月11日配信）
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000198.000011390.html>

■生成イメージ



■対応言語例

アフリカース/アラビア/アゼルバイジャン/ベンガル/ビルマ/中国（簡体字）/チェコ/オランダ/エストニア/フィンランド/フランス/ジョージア/ドイツ/ガリシア/クジャラート/ヘブライ/ヒンディー/インドネシア/イタリア/カザフ/クメール/韓国/ラトビア/リトアニア/マケドニア/マラーラム/マラーティー/モンゴル/ネパール/ペルシア/ポーランド/ポルトガル/パシュト/ルーマニア/ロシア/クロアチア/シンハラ/スロベニア/スペイン/スワヒリ/スウェーデン/タミル/テルグ/タイ/トルコ/ウクライナ/ウルドゥー/ベトナム/コサ

- ・本機能は ABILI Clip の機能です。ABILI Clip に登録された動画に適用されます
- ・音声を中心に AI が字幕/翻訳を作成するため、正確な内容ではない場合がございます

■利用企業の声

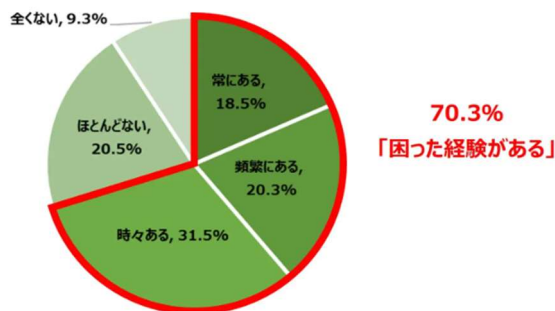
「ベトナム人技能実習生を指導する現場では、全員から良くわかったと高評価を得た。他の動画教材についてもこの機能を継続して欲しいという要望がある。それ以外の言語も試しているところなので、積極的に使っていきたい」（ベトナム語/ビルメンメンテナンス業）

「料理の手順を説明する動画の翻訳は理解しやすかった。動画の内容によって翻訳の精度に多少は差が出るが、映像があれば大まかな内容は理解できる。動画を見て分からない部分で翻訳機能を補助的に使うことができると思う」（ネパール語/飲食業）

「キッチンで洗い場、調理の動画を視聴し翻訳を利用した。言葉が難しい箇所があったので翻訳があって助かった」（ミャンマー語/飲食業）

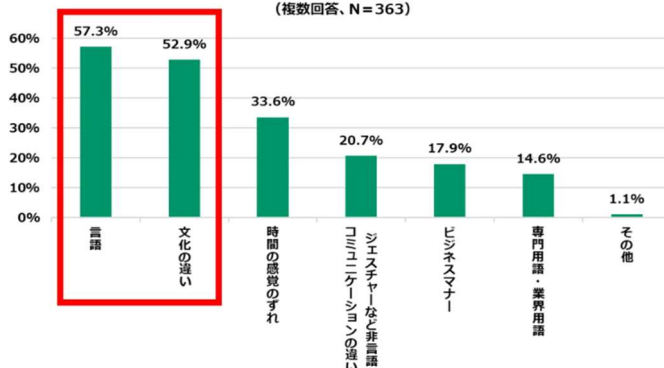
■参考資料：「飲食業界における外国人労働者との関わりに関する実態調査」より

Q1、一緒に働いている（働いていた）外国人労働者とのコミュニケーションで、困った経験はありますか？（単一回答、N=400）



外国人と一緒に働いたことのある7割が「困った経験がある」と回答

Q2、Q1で「全くない」以外を選択された方にうかがいます。コミュニケーションで困った経験について、具体的にどのようなことに困りましたか？（複数回答、N=363）



困ったことの上位は言語や文化の違い

詳しい調査結果はこちらからご覧いただけます。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000198.000011390.html>

■ABILI Clip について

短尺動画などのコンテンツと双方向のコミュニケーションの仕組みを活用し、「経営層」「ミドル層」「現場」全ての課題を解決する実行支援・マネジメントシステムです。スタッフの役割・能力に応じた適切な教育や情報流通、現場での業務実行指示・管理に加え、サービス業の現場に点在する好事例や暗黙知の共有知化、形式知化を実現。多拠点ビジネス特有の属人化したマネジメント構造の課題を解決します。

サービス紹介動画：<https://youtu.be/m0Jhvp5SD-I>

ABILI コンセプト紹介動画：https://youtu.be/l8q_ylmkX0k

■ClipLine 株式会社について

ミッション：「できる」をふやす

代表者：代表取締役社長 高橋 勇人

設立：2013年7月11日

所在地：〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 15 グランファースト神田紺屋町 5F

資本金：4億円（資本準備金含む。2023年8月31日現在）

企業 URL：<https://corp.clipline.com/>

サービスサイト：<https://service.clipline.com/>

事業内容：多拠点ビジネスの潜在力を引き出す「ABILI（アビリ）」の開発・運営、及び経営コンサルティング

■本件に関するお問い合わせ

ClipLine 広報事務局（共同ピーアール内） 志賀、玉井

MAIL：clipline-pr@kyodo-pr.co.jp

TEL：080-9508-7123（志賀）、080-1018-6011（玉井）